

はじまるだより

2025年4月4日
(3 月 号)
第 127 号

中国地方整備局
土師ダム管理所

土師ダムでフラッシュ放流を実施しました

令和7年3月26日にフラッシュ放流を実施しました。今年度も昨年度と同様に灰塚ダム（三次市三良坂町）と合同で実施しました。

フラッシュ放流とは

河川環境の保全を目的とし、ダムで貯留した水を放流するものです。

効果

- ①石の表面を洗い流して、魚の餌となる付着藻類を更新させる。
- ②川の流れの悪い場所に溜まる汚れなどをきれいにする。

フラッシュ放流を実施することにより、魚や水に棲む昆虫等の生息環境を改善する効果が期待できます。

当日は、朝8時より放流を開始し、13時過ぎに最大放流量の毎秒100トンに達し、その後2時間の放流を継続後、徐々に放流量を減らし、17時過ぎにフラッシュ放流を終了しました。

放流前と放流後の川の中の状況を比較すると、放流後は石に付着していた古い藻類が剥がれており、よども解消されていることが確認できます。

（左の写真参照）

フラッシュ放流の実施にあたっては、

河川を利用するみなさまの安全のため、河川敷に入らないよう前日までにアナウンスや点検を実施し、フラッシュ放流開始前と放流開始後の2回、警報所からのアナウンス及び河川パトロールを行いました。

ご不便をおかけしましたが、みなさまのご理解・ご協力のもとに、無事終了することができました。

ありがとうございました。

当日のフラッシュ放流の様子は、Xでも紹介しています。ぜひアクセスしてみてください。



フラッシュ放流実施前の状況



フラッシュ放流実施後の状況

安芸高田市吉田町地点（ダム下流12km）

土師ダムフラッシュ放流



オリフィスゲートから放流中



土師ダムのリアルタイムの貯水位や流入量・放流量など詳しい情報はこちら

川の防災情報 <http://www.river.go.jp>



土師ダム水質情報連絡会を開催しました

令和7年3月11日に土師ダム管理所にて第12回水質情報連絡会を開催しました。

平成26年より開催している本連絡会では、ダム湖（八千代湖）の水質、気象、生態系といった専門的な知見について、関係機関や有識者と定期的な意見交換・情報共有を図っています。

連絡会では、土師ダム管理所より、ダム湖の水質について昨年と比べて「アオコ」の発生箇所が増えたことや上流地点の総窒素や総リン（有機物）等が環境基準値を一部上回る時期があったなどの水質状況について報告した後、広島市水道局水質管理課橋渡課長補佐、呉工業高等専門学校黒川岳司教授からダム湖の水質や流動に関する調査・研究についての発表がありました。

意見交換では、黒川教授と流域環境再生センター（広島大学名誉教授）山本センター長より助言をいただき、アオコの原因物質の発生抑制やダム湖内の水の貧酸素状態改善のための曝気装置散気口の運用変更、ダム湖底の有機物質調査のための採泥等について提案がありました。

今後も引き続き、各機関が連携を密にし、皆さんの水源となるダム湖の水質の分析・改善に努めていきます。



連絡会の様子

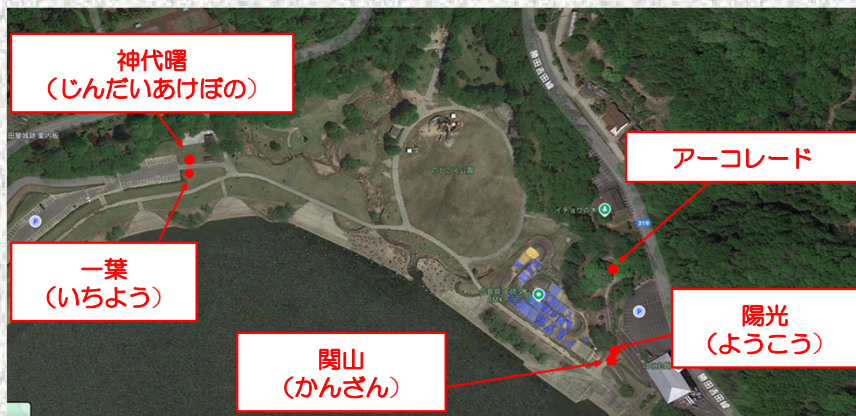
土師ダムの50周年記念樹を定植しました

令和7年3月17日にのどごえ公園で土師ダム50周年記念式典の「植樹の儀」で使用した5種類の桜の苗木を定植しました。



定植した桜は「神代曙」「一葉」「陽光」「関山」「アーコレード」の5種類

で、穴を掘り、たい肥を投入してかき混ぜて植樹した後、支柱設置・緩効性肥料（成分がゆっくり溶け出し効果が長く続く）を投入しました。法面には、土留めの措置を行い、鹿対策として囲いを設置しました。



苗木の定植位置（のどごえ公園）

八千代湖の水質（2月）

土師ダム湖心の水質(mg/L)

	COD(全層)		総窒素(表層)		総リン(表層)	
環境基準	3.0		0.43		0.018	
1月	2.2	○	1.08	×	0.014	○
2月	1.8	○	0.72	×	0.013	○

ダム周辺の観光客数（3月）

令和7年3月 7,935人



おかげ様で土師ダムは
管理開始から
50年を迎えました



はじ丸



はじまり子

国土交通省中国地方整備局
土師ダム管理所

広島県安芸高田市八千代町土師369-24

TEL : 0826-52-2455

E-MAIL : haji@cgr.mlit.go.jp

URL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/haji>

X(旧Twitter) : @mlit_hajimaru